



わが町が生み出す、新しいモノ・コトに密着!
かわなみ
エリア
誕生物語

私たちの町が誇る名物、イベント、新商品…
それぞれの誕生の裏側には、物語が詰まっています。

羽島市

2017年からはいちご狩りを開催しますよ。

特大いちご「美人姫」
【とくだいちご「びじんひめ」】

1粒100g、糖度13度以上。“奇跡のいちご”と呼ばれる「美人姫」は、全国で注目される羽島の新名物です。生産する「奥田農園」の奥田美喜夫さんはいちご一筋35年、開発には13年の月日を費やし、唯一無二のいちごを生み出しました。今後はこのブランド力を活かし観光農園に力を入れていきたいと語ります。

〒奥田農園 ☎090-3256-0380

お問合せ
羽島市観光協会 ☎058-392-1111(内線2615) 奥田美喜夫さん▶

一宮市

わつみの創作積木シリーズ「どうぶつ積木パズル」
【わつみのそうざく積みシリーズ「どうぶつ積みパズル」】

主に国産ヒノキを使って玩具を手作りする「積木工場 わつみ」。一宮市新商品開発・新分野開拓事業者支援制度(※)の認定商品に選ばれた「どうぶつ積木パズル」は、小さなお子さんにも頭と手をたくさん使って遊んでもらえるようパズル作家と共同製作されました。簡単すぎず大人も一緒に楽しめるものを、そして、ごっこ遊びや積木もできるものを…と改良を重ねて完成したパズルは、現在市内の保育園や児童館、市民病院等で子ども達に愛用されています。

〒積木工場わつみ ☎0586-75-5445

お問合せ
※制度について 一宮市経済部経済振興課 ☎0586-28-9130

江南市

江南藤まつり
【こうなんふじまつり】

紫・紅・白など12種類約60本の藤が咲き誇り、愛知県内外から人々が訪れるまつり。開催地に隣接する曼陀羅寺には江戸時代から続く「嫁見まつり」がありましたが、戦争を機にその賑やかさを喪失。しかし1953年に結成された曼陀羅寺奉賛会がこのお寺を藤の名所にしたいと藤の花を植え始めました。徐々に成長し、やがて見事な藤棚が完成。1966年には第1回藤まつりの開催を実現しました。2016年は築山が改修され、また新たな風景に出会えます。

〒曼陀羅寺公園
時 4月21日(木)~5月5日(祝)

お問合せ
江南藤まつり運営協議会事務局(江南市商工観光課内)
☎0587-54-1111(まつり期間中は☎0587-56-8739)

岐南町

LINEスタンプも販売しています!

ねぎっちょグッズ
▲メディア担当 笠井一輝さん

「ねぎっちょ」は岐南町の特産物・徳田ねぎをモチーフにした、町のマスコットキャラクター。町内の小学生が創作し、絵本作家の高島純さんがデザインしました。昨年には地域の皆さんに郷土愛を育んでもらいたいという願いから、ねぎっちょを身近に感じられるグッズも製作。2016年は町制施行60周年であり、ねぎっちょが誕生して10年目。今後の新たな取り組みにも期待が高まります。

〒岐南町役場2階 自治教育振興部 自治振興課 窓口にて販売

お問合せ 岐南町自治振興課 ☎058-247-1370

扶桑町

扶桑カレー
【ふそうカレー】

「わが町にも名物グルメを!」と商工会青年部が開発。老若男女を問わず好まれ、非常食にも利用できる“カレー”に着目し、試行錯誤の末に地域色満載の「扶桑カレー」が生まれました。町花のひまわりをイメージしたこだわりのカレーで、材料にはサンフラワーオイルやローストしたひまわりの種、また手羽元も丸ごと1本使用。2015年からはイオン11店舗に常設されています。

〒扶桑町商工会、イオン(扶桑店など11店舗)、名古屋空港にて販売

お問合せ
扶桑町商工会 ☎0587-93-5111

稲沢市

国分寺マルシェ -手仕事市-
【こくぶんじマルシェ -てしごといち-】

雑貨や陶器、洋服やフード等々…“手作り”にこだわる約70店が軒を連ねる定期市。矢合町を知ってもらいたい、人と人とのご縁を繋げるお寺にしたいと2014年6月にスタートしました。本堂で休憩・飲食したり、作り手さんとお話したり…マルシェを通してお寺の存在が身近になり、人の輪も着実に広がっています。

〒尾張 国分寺
時 毎月3日(1月を除く)10:30~13:30

お問合せ 尾張 国分寺 ☎0587-36-2824

犬山市

犬山ドッグ
【いぬやまドッグ】

▲犬山中学校にて

全国の自治体で「犬」が付くのは犬山市のみ。そこで2012年、商工会議所が「犬」にちなんだ特産品として開発したのが「犬山ドッグ」です。“犬山らしさ”を挟み込んでいのが特徴で、王道のソーセージや名物の田楽、スイーツ系まで多彩な味が誕生しました。現在19店が参加し、2015年には愛知県が地域産業資源に指定しています。

〒サイトウ、池田屋など19店舗にて販売

お問合せ
犬山商工会議所 特産品開発実行委員会
☎0568-62-5233

笠松町

“未来”を表す今後の展示もお楽しみに!

笠松町歴史未来館
【かさまつちょうれきしみらいかん】

▲館長 高木敏彦さん

笠松町歴史民俗資料館から生まれ変わり、2015年6月に開館。従来のように、川湊として栄えた笠松の“歴史”を伝える展示に、科学や航空宇宙に関連する“未来”の要素を加えて新たな一歩を踏み出しました。寄附者である名誉町民・松原登士弘さん(株式会社 光製作所 会長)の、青少年たちにこの分野への関心を高めてほしいという切なる想いが込められています。

お問合せ 笠松町歴史未来館 ☎058-388-0161

各務原市

各務原キムチ
【かみかみはらキムチ】

きっかけは韓国・春川市との姉妹都市交流。2004年に春川市が舞台のドラマ「冬のソナタ」のイベントを開催した際、ヨン様グッズと並ぶ人気を見せたのが手作りキムチでした。そこからキムチで市を盛り上げようと、市の特産・にんじんと春川市の特産・松の実を使った「各務原キムチ」が誕生。以後着実にファンを増やしていき、2008年開催の第3回B-1グランプリでは各務原キムチ鍋がブロンズグランプリを獲得。今後の展開にも目が離せません。

〒キッチンパートナー ヤマワなど40店舗にて販売

お問合せ
キムチ日本一の都市研究会事務局(各務原市ブランド創造課内) ☎058-383-9925